

# 令和7年度 蓬萊小学校 学校教育グランドデザイン

## 教育目標 「認め合い 学び合い 高め合う 子どもの育成」

社会に貢献する人材の育成を目指し、子どもたちが他者と協働しながら、新たな学びに主体的に向かい、自他ともに高め合うことをとおして、子どもたち自ら自己実現できる力をはぐくむ。

### 重点目標 ◎

認め合う力  
人間関係力

◎学び合う力  
主体的探究力

高め合う力  
自己指導能力

### 子どもの思い 保護者の願い 教職員の願い

- ・ 基本的な生活習慣の定着と健康・体力の向上
- ・ 自主自立と責任感の醸成
- ・ 読む力・聴く力の育成
- ・ 夢と希望に向かい笑顔あふれる楽しい学校の創造

### めざす子どもの姿

【互いを認め合える子】

◎【自分の考えをもち学び合う子】

【粘り強くともに高まる子】

子どもの発達をどう支援するか  
支援を必要とする子どもへの指導

- すべての子どもの可能性を引出し、子ども一人一人の成長を保障する
- 個に応じたきめ細かな指導
- ・ 個々の教育的ニーズを把握し支援
- チーム蓬萊での対応
- ・ 職員間の情報共有・方向性の確認
- ・ 外部機関との連携・チーム支援

### 何ができるようになるか・何が身についたか

○評価を通じた指導の改善

- ① 多様な考えを受け入れ、協働的に学び、自分の考えをよりよくすることができる。
- ② 学習したことや体験したことを生かして主体的に学ぶことができる。
- ③ 変化に積極的に向き合い主体的に判断し、課題を粘り強く解決することができる。

## 【将来にわたり自己実現を支える力＝【人間関係力・主体的探究力・自己指導能力】の育成

	何を学ぶか 教育課程の編成	どのように学ぶか 教育課程の実施
人間関係力	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎他者と協働できる資質</li> <li>○互いを大切にできる心情</li> <li>○人と積極的に関わる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動を要とした合意形成体験</li> <li>自己有用感他者共感への価値付け</li> <li>体験活動の意図的・目的設定</li> </ul>
主体的探究力	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学ぶ意欲・態度</li> <li>○学習の基礎となる知識・技能</li> <li>○課題解決に向う思考力・判断力・表現力</li> <li>○何を学んだかがわかる力・振り返り力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受容発信「聴き方・話し方」の基盤形成</li> <li>「単元を通して付けたい資質能力」の明確化</li> <li>自分の思考の軌跡がわかる「ノート」づくり</li> <li>学習情報センターとしての図書館の活用</li> </ul>
自己指導能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎最後までやり通す力</li> <li>○互いに切磋琢磨する心情</li> <li>○自己管理能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識・達成体験</li> <li>運動の日常化、継続試行</li> <li>判断を伴う実践の場</li> </ul>

### 実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研修の充実
- 迅速かつ適切な初期対応・チーム対応
- いじめ・不登校を生まない学年学級経営
- 主任・コーディネーターを核としたSC、SSW、関係機関との連携
- 子どもと向き合う時間の確保
- 家庭・地域との情報共有及び連携・協働
- 学びの連続性を意識した幼保小中の連携

### 安心・安全を守る

- ・ 教育活動全般における万全の安全対策
- ・ 自分の命は自分で守る子どもの育成
- ・ 認め合い安心できる教室学校（人権尊重）

### 開かれた学校づくり

- ・ 地域の人材（人財）、教材を生かした学校づくり
- ・ 分かち合い、話し合い、情報を共有できる環境
- ・ 各種おたより、HP等による積極的な情報発信